

Hokuhoku RePort

【特集】

TOP INTERVIEW

地域から親しまれ、頼りにされる
金融グループを目指して

新中期経営計画スタート

支店のある町

富山県 《黒部市》

北海道 《北見市》

駐在員レポート

シンガポールに続く第2の拠点としてーバンコク

地域とともに

経営支援の取り組み

ほくほくFGのCSR

地域活性化のための取り組み

“GO for IT!”

新中期経営計画

地域から親しまれ、頼りにされる金融グループを目指して

4月からスタートした中期経営計画について、
ほくほくフィナンシャルグループの経営トップの二人にインタビューしました。

取締役社長（北陸銀行 頭取）
庵 栄伸

取締役会長（北海道銀行 頭取）
堰 八義博



TOP INTERVIEW

Hokuhoku Financial Group

Hokuhoku RePort

ほくほく
レポート
2013

平成25年7月発行
株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637 富山市堤町通り1丁目2番26号
tel 076-423-7331
http://www.hokuhoku-fg.co.jp/

C O N T E N T S

02 [特集]TOP INTERVIEW

地域から親しまれ、頼りにされる
金融グループを目指して

新中期経営計画
“GO for IT!”

07 中期経営計画

09 支店のある町

09 富山県 黒部市
「山」「川」「海」そして「温泉」のまち
北陸銀行 黒部支店、宇奈月支店、生地出張所、YKK出張所

11 北海道 北見市
厳しい自然が育てたまちの財産
北海道銀行 北見支店、北見とん田出張所

13 駐在員レポート

BANGKOK

シンガポールに続く第2の拠点として、
東南アジアでの事業拡大をサポート
北陸銀行バンコク駐在員事務所(タイ)

15 地域とともに

経営支援の取り組み

- 15 お客さまのニーズにお応えするための取り組み
- 16 創業・新事業開拓支援
- 事業再生・経営改善、事業承継等支援
- 17 販路拡大・海外進出支援

19 ほくほくFGのCSR

地域活性化のための取り組み

- 19 金融教育
- 20 環境保全
- 21 芸術文化振興・スポーツ振興
- 22 地域密着活動

23 PICK UP NEWS

お客さまにいつも寄りそうサービスを

25 CS向上への取り組み

27 業績ハイライト

29 企業概要 / 店舗ネットワーク

ほくほくレポート
発刊に寄せて

皆さまには、日頃より北陸銀行、
北海道銀行をはじめ、ほくほくフィ
ナンシャルグループをお引き立て
賜り、誠にありがとうございます。
このたび、私どもの活動を「ほくほく
レポート2013」としてまとめ
ました。当社グループでは、この
4月より、新たな中期経営計画
“GO for IT!”をスタート
させました。

引き続き、地域に根ざした金融機関
として、「地域から親しまれ、頼りに
される金融グループ」を目指し、お客
さまの心に寄り添った金融サービスの
提供や、地域経済の活性化に向けた
取り組みを行ってまいります。
この冊子を通じて当社グループへ
のご理解が深まり、身近に感じてい
ただければ幸いです。
今後とも変わらぬご支援とご愛顧を
賜りますようお願い申し上げます。

平成二十五年七月

代表取締役会長
堰 八義博

代表取締役社長
庵 栄伸

地方銀行フードセレクション2012



Regional economy!

お客さまと密に連携することで
地域経済を活性化



Group management!

地域の特性を活かす金融サービスの
開発とグループ統一による経営の効率化



農業支援の一環として視察を行った植物工場

北海道新幹線開業

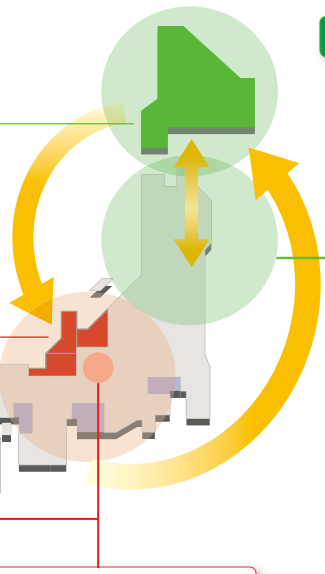
2015年度開業
新青森⇄新函館
2035年度開業(予定)
新函館⇄札幌

北陸新幹線開業

2015年春開業
富山⇄東京2:07
沿線間の交流増加で
観光消費や雇用拡大に期待

地銀連携

北陸銀行と山口銀行
両行の海外拠点を相互
活用し、お取引先企業の
支援体制を充実



● ほくほくFGの広域ネットワーク

地銀連携

北海道銀行と東北地区
に本店を置く地銀10行
の業務提携

- ・青森銀行
- ・みちのく銀行
- ・岩手銀行
- ・東北銀行
- ・七十七銀行
- ・秋田銀行
- ・北都銀行
- ・荘内銀行
- ・山形銀行
- ・東邦銀行

北海道新幹線の開業を
控え、東北地区と北海
道地区との相互交流
を支援

北陸銀行と大垣共立銀行
東海地方と北陸地方の
ビジネス商談会を共同開催

「新しい中期経営計画がスタート
しましたが、はじめに全体の方向性
について教えてください。」

堰八 名称の「G O f o r I T !」
は、「一言でいえば「頑張れ!」という意
味で、「一人ひとりが更なる成長に向け
て努力する」として「お取引先の発展
を応援する」という決意が込められて
います。「この決意のもと、「地域から親
しまれ、頼りにされる金融グループ」を
目指し、さまざま取り組みを展開し
ていくというものです。」

庵 これまでほくほくフィナンシャ
ルグループとして取り組んできた「営業
力の強化」、「経営の効率化」、「経営基盤
の強化」をさらに推し進めていくとい
うことが基本ですが、前中計の反省や当社
グループの現状の課題として、土台とな
る「リスク管理やコンプライアンス」、
「人財育成や経営資源の再配分」とい
った内部態勢の見直しも行っていきます。
そうした取り組みを行っていくことで、
「地域活性化」には当社グループの
「企業価値向上」を図っていきたくと考
えています。

「子銀行のトップとしてはどのよ
うな取り組みをお考えですか?」

庵 「「もつと」地域に「親しまれ・頼
りにされる」銀行となるには、何をすれ

「ビジネスマッチングの質の向上
について詳しく教えてください。」

堰八 営業基盤となる北陸と北海道で
は新幹線開業が控えていますから、新
幹線沿線の地銀との連携に取り組んで
いきます。

北海道銀行では新幹線の開業に先立ち、
東北地方の地銀10行と連携協定を締結
しました。北海道と東北地区を一つの
経済圏と捉え、交流促進を図り、ビジネ
スマッチング等を通じてお取引先の販

「今までの『もつと』になるのかを
考え、行員一人ひとりが、一つの仕
事を丁寧に、そして地道に取り組ん
でいく、「これに尽きる」と思っています。銀
行とお客さまがWin・Winの関係
になるためにはどうしたら良いのだろ
う、といったことを、改めて、そして今
まで以上に考えていきたいと思ってい
ます。」

堰八 「ALL-UP」の精神で「一人
ひとりが、そして組織がすべてにおい
て」を指していると考えていま
す。そのための戦略・施策を策定する上
で「経営資源の再配分」、「道銀の地方分
権」そして「人財育成」の3つをしっかりと
と実現していこうと思っています。」

「基本方針に掲げている「営業力の
強化」の具体的な取り組みについて
教えてください。」

堰八 ビジネスマッチングの「質」の向
上や海外進出支援の強化、個人取引の
強化等を行っていきます。当社グルー
プが持つ広域性と海外ネットワークに
外部機関との連携をプラスすることで、
今まで以上にビジネスマッチングの質
の向上、海外進出支援の強化ができ
ると考えています。」

路拡大、相互地域への進出等を支援し
ていきたいと考えています。」

庵 ビジネスマッチングを開催する
ためには、お客さまがどういったニ
ーズを持っているのかをきちんと把握す
る力、即ち目利き力を高めていくこと
も必須です。目利き力を高める取り組
みに力を入れ、企業をもつと幅広く、も
つと深く分析し、お客さまに対してよ
りよい提案ができる人財を増やしてい
きたいと思っています。」

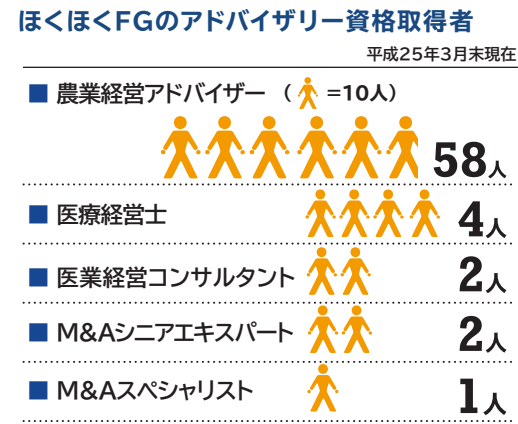
Creation of value!

“地域共栄”の精神を柱に、新たな価値の創造へ

庵 お客さまから、「この銀行に相談しよう」と思っていただけのような安心感のあるサービスやコンサルティングを提供することが必要です。そのため、人財育成やコンプライアンスの強化を地道に、そして着実に行うことだと考えています。

堰八 新しい自己資本比率規制に対応した資本政策や企業再生支援、各種リスク管理といった「経営基盤の強化」にもしっかりと取り組み、グループの根幹を強くしていくことが必要だと考えています。

―目指すグループ像にある「頼りにされる金融グループ」について、そのために必要なことは何だと考えますか。



金沢大学、富山大学の学生を中国視察研修へ派遣

―最後に地域の発展のためにどのような取り組みを行っていかのか教えてください。

堰八 お取引先への円滑な資金供給と質の高い金融商品やサービスの提供を安定的かつ継続的に行うこと、すなわち本業を通じてお役に立ち、発展に貢献することが最も重要な地域貢献活動であると考えています。また、本業以外でも環境保全活動、芸術・文化・スポーツ振興活動、金融教育活動などにも積極的に取り組み、地域社会の持続的な発展を支えていきます。

庵 当社グループでは北陸三県、北海道、東名阪といった大都市等に店舗を展開しています。ホームとアウエーという言葉がありますが、店舗を展開している地域は、シェアや規模に関係なく「ホーム」であり、それぞれの地域で働く従業員がそれぞれの地域に貢献する活動を展開していくことが大事であると考えています。単独での活動では小さな力しか発揮できないかもしれませんが、行政機関を含めた地域の皆さまと協力することで大きな力となり、地域の活性化につながると信じています。そのためには、これまでに以上に皆さまと結び付きを強めていきたいと思っています。



アムール州と農業分野に関する覚書を締結



ほくほくFGの海外ネットワーク

駐在員事務所	
中国	上海、瀋陽、大連
アジアその他	シンガポール、バンコク
ロシア	ウラジオストク、 ウラジオストク (平成25年度中に開設予定)
その他	ロンドン、ニューヨーク

海外行政機関との協定等	
中国	大連、瀋陽、上海、遼寧、長春、蘇州、 広東、ハルビン、寧波、無錫、昆山、 營口、紹興、大連金州新区等
アジアその他	ベトナム政府、タイ投資委員会
ロシア	ハバロフスク市、サハリン州、アムール州

外国金融機関との提携	
アジア全域	スタンダードチャータード銀行
中国	中国銀行、中国交通銀行、上海銀行
タイ	カシコン銀行
インド	インドステイト銀行
ベトナム	ベトコム銀行
インドネシア	バンク・ネガラ・インドネシア
ロシア	VTB銀行、VTB24銀行、ズベルバンク

庵 現地法人への直接融資や外部の提携先を活用した貿易保険の取り次ぎ、海外リスクマネジメントといった今まで積み上げてきたノウハウをより一層深いものとして提供したいと考えています。また、セミナー等を通じてお客さまのビジネスに繋がる情報の提供に努めていきます。

昨年3月に北陸銀行がバンコク駐在員事務所を

開設し、グループでアジアに5つの拠点ができました。各駐在員事務所と外部の提携先をフル活用して「アジア進出のプラットフォーム」としての役割を確立させていきたいと思っています。

堰八 4月には、北海道銀行とロシア・アムール州政府との間でアグリビジネスの展開支援を目的に農業分野に関する覚書を締結したほか、平成25年度中にウラジオストク駐在員事務所を開設予定です。極東ロシアへの支援体制を拡充し、安心してロシアビジネスに踏み出していけるようにサポートしていきたいと考えています。

―海外進出支援の強化についてはどのような取り組みをお考えですか。

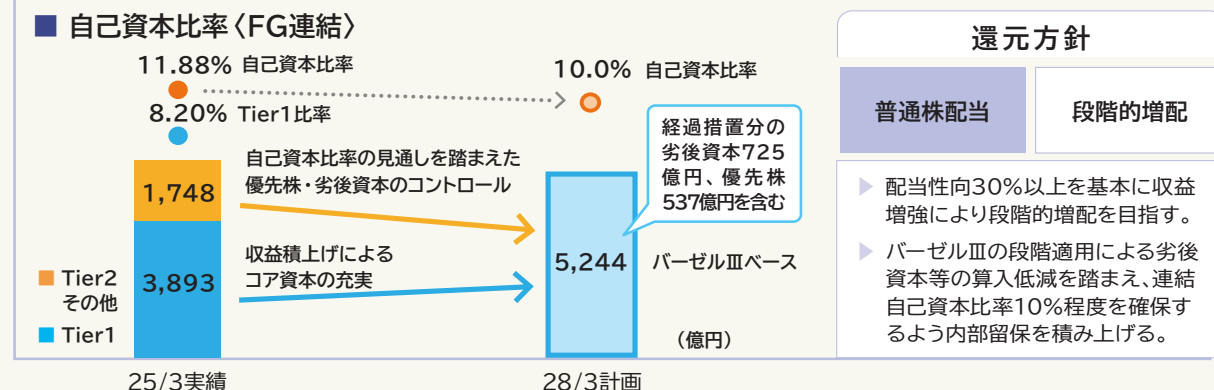
中期経営計画

計画の概要 | 目標計数 | 計画の基本方針 | 自己資本比率

営業力の強化	施策 ▼
顧客取引基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 取引先数の更なる増強 ▶ メイン化、クロスセルの取組強化
コンサルティング営業の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 重点分野等の知識武装と推進強化(農業、医療・福祉、環境・再生エネルギー分野) ▶ PB、M&A、事業承継等への取組強化
広域グループの優位性発揮	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ビジネスマッチングの進化、質の向上 ▶ 海外進出先等支援の質の向上
個人取引マーケットの取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ セグメントに対応した施策展開 ▶ 非対面チャネルの活用 ▶ 投信・保険販売態勢の整備と推進強化
有価証券運用の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業性貸出の資金需要低迷による資金益減少を補完

経営の効率化	施策 ▼
業務集約化共同化の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ FG規模に見合ったコスト構造構築に向けた取り組み(本部機能集約化、バックオフィス共同化、商品・広告等の共同化) ▶ 統合管理による態勢強化
共同利用システムのメリット追求	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 3行共同 ⇒ 4行共同態勢による更なるコスト削減 ▶ グループ内サブシステム、事務統合への継続取組
事務効率化本部・営業店運営の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本部・営業店業務の最適化による効率運営の実現 ▶ 重点営業地域への戦略的人員配置

経営基盤の強化	施策 ▼
資本政策	<ul style="list-style-type: none"> ▶ パーゼルⅢに対応した質の向上 ▶ 株主価値向上に向けた政策の実施
資産の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスクウエイトの低い良質資産の積上げ
企業再生支援の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外部機関との連携 ▶ 地域再生ファンド活用



当社グループは、前中期経営計画“Road to 10” (平成22年4月から25年3月)で「預金量10兆円金融グループへの足固め」に取り組んでまいりました。厳しい経営環境のなか収益項目は計画未達となりましたが、25年3月末で預金残高10兆81億円と10兆円に到達し、将来の成長の基礎となる取引基盤を構築することができました。また、3行共同利用システムの安定稼働など経営の効率化においても一定の成果を得ることができました。自己資本比率も目標水準をクリアし、24年度には5,000万株の自己株取得を実施するなど、資本政策面においても株主価値向上に向けて新たな取り組みを実施してまいりました。

現在、当社を取り巻く経営環境は、地域の人口、世帯数減少

によるマーケットの縮小、低金利の継続、他行との競争激化に加え、原発問題や新興国の成長鈍化など不確実性も内包し、従来にも増して厳しい環境が続くと予想されます。

こうした中、これからの3年間で「持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組む期間」と位置付け、変化する環境のなかで持続的に成長するために、地域のお客さまとのリレーション強化と内部態勢の強化・再構築に取り組めます。経営施策では、従来から取り組んできた「営業力の強化」「経営の効率化」の施策をさらに推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組み、地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高めてまいります。

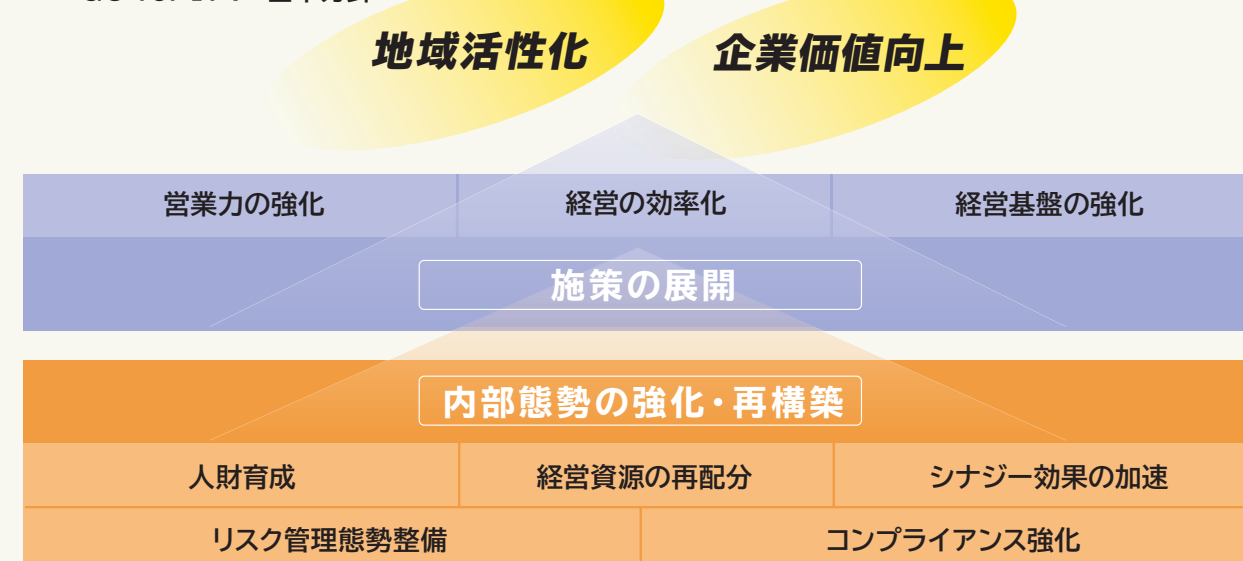
■ 計画の概要

名称	中期経営計画 “GO for IT!”
期間	3年間 (平成25年4月~28年3月)
位置付け	持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組む期間
目指すグループ像	地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域のお客さまとのリレーション強化と内部態勢の強化・再構築により、変化する環境のなかで持続的に成長するための態勢を構築する。 2. 「営業力の強化」「経営の効率化」の施策をさらに推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組む。 3. 地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高める。

■ 平成28年3月期目標とする計数 (2行合算・連結)

総預金平残	10兆1,100億円
貸出金平残	7兆4,800億円
コア業務純益	470億円
連結当期純利益	185億円
連結自己資本比率	10%以上
OHR (コア業務粗利益ベース)	67%
不良債権比率	2%台

■ 中期経営計画 “GO for IT!” 基本方針



支店のある町

黒部市(富山県)

KUROBE

黒部峡谷 黒部川 日本海

「山」「川」「海」そして

「温泉」のまち

宇奈月温泉



ありのままの大自然に
歓声がわく峡谷の旅

北アルプスの鷲羽岳を源流とする黒部川。そそりたつ峡谷の間を流れる川は、美しい景観で人々を圧倒し、大地を水で潤し、暮らしを支えています。全国有数の急流・黒部川が流れる黒部市は、豊かな水がたっぷり出します。水の源、黒部峡谷への旅は、トロッコ電車から始まります。深い谷間を流れる黒部川、いたるところに湧き出る温泉。途中下車しながら、上流へ向かうごとに大自然の豊かさを感じ取ることができます。

秘境・黒部峡谷

北アルプス立山連峰と後立山連峰の間に刻まれた黒部峡谷は、日本三大渓谷、日本の秘境百選の一つにあげられています。水力発電所建設のために敷かれた黒部峡谷鉄道のトロッコ電車の車窓から、大自然のつくり出す美しい景観を堪能できます。



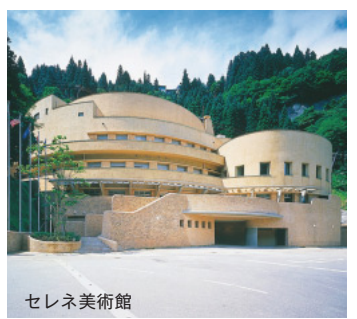
峡谷の秘湯めぐり

黒部川沿いの峡谷には、数多くの温泉が湧き出し、秘湯ファンを惹きつけてやみません。トロッコ電車に乗って川を上ると、駅ごとに野性味あふれる温泉が湧き出し、黒姫(くろなき)、鐘釣(かねつり)、祖母谷(ばばたに)などのほか上流の奥山にも湯が湧いているまさに温泉の宝庫です。峡谷鉄道の終点の樺平駅近くの河原展望台では足湯が楽しめます。

美肌の湯として 名高い 宇奈月温泉



黒部峡谷の入り口、宇奈月温泉は富山県を代表する温泉地です。大正時代、黒部峡谷の電源開発をきっかけに開かれ、湯量豊富、泉質は無色透明弱アルカリ性単純温泉で、美肌の湯として知られています。お得な『宇奈月食べ歩きクーポン』を利用し、おいしいスイーツや足湯を楽しみながらまちめぐりが楽しめます。



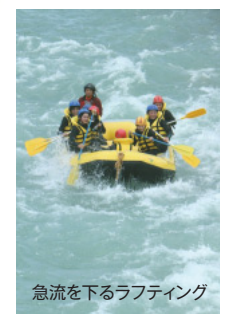
清水のまち、生地



日本最大の扇状地に広がる漁業の町生地は、かつて暴れ川と呼ばれた黒部川がつくったまち。魚の駅「生地」にはホタルイカや蜆気楼で知られる神秘の海、富山湾のキトキトの魚が並んでいます。生地には、北アルプスの山から流れてきた黒部川の豊かな伏流水が「清水(しょうすい)」と呼ばれる湧水群となっており、昭和60年には「全国名水百選」に選ばれています。

スリル満点の レジャースポーツ

黒部川の上流では、渓谷で激流と遊ぶフランス発祥のスポーツのキヤニオニングを、中流域では、ラフトに乗り急流を下るラフティングを楽しむことができます。いずれも国際資格を持つスタッフとともに手軽に大自然を堪能でき、黒部の大きな魅力となっています。



黒部市と北陸銀行

黒部市は富山県東部に位置しています。その地形は北アルプスから富山湾まで約3000mの標高差があり、高山帯から低山帯、さらに黒部川の広大な扇状地、富山湾沿岸部など変化に富んでいます。黒部市には、黒部支店、宇奈月支店、生地出張所、YKK出張所の4つの店舗があります。



支店のある町

北見市(北海道)

厳しい自然が
育てた
まちの財産

明治30年、土佐(高知)で組織された北光社移民団が長い航海で網走に上陸し、日数を重ねて着いたのが野付牛(現北見市)と呼ばれるこの土地でした。また、北光社とほぼ同時期に入植したのが、北の防備と開拓を目的にした屯田兵でした。この両者の強い開拓魂が、想像を絶する困難にも負けず北の大地を切り開き、ここに北見の歴史が始まったのです。



白い大地、流氷

流氷は、1月下旬頃、遠くシベリアのアムール川から1000kmもの旅をしてたどり着きます。はじめは帯状になって近づき、風向きなどで接岸、離岸を繰り返してやがて氷原になって、143万km²の広さをもつオホーツク海の約8割を埋めつくします。

1日に何kmも気まぐれな旅をする氷たちは、昨日まで青かった海を、一夜のうちに白い大地へと変えてしまします。氷原ができる気温もほとんど下がり、北見の冬は本番を迎えます。4月上旬、春の気配を感じると、海を大地に模様替えた流氷も崩れだし、太平洋へと流れ去り、『海開け』がやってきました。



屋内専用カーリングホール

世界で活躍するカーリング選手の育成

数々のオリンピック選手を輩出している旧常呂町(現北見市)。昭和63年に日本で初めて屋内専用カーリングホールが建設されたのもこの町です。氷上での絶妙なコントロールが要求されるカーリングでは、コンディショニングが一定となる屋内ホールの存在は大きく、選手のカーリング技術向上に貢献しています。また、日本におけるカーリングの聖地とされています。

北見ハッカ記念館



北見ハッカ記念館

戦前、ハッカの生産は北見にとって重要な産業であり、世界のハッカの約7割を占めていました。その歴史を伝える北見ハッカ記念館では、乾燥ハッカの標本や世界中のハッカ製品等さまざまな資料を展示しています。夏場は、別棟の薄荷蒸溜館でハッカの蒸溜実演を行っており、その様子を見学することができます。また、ハッカ記念館前のハーブガーデンでは、和種ハッカ・洋種ハッカ・多種のハーブが楽しめます。夜は温かなキャンドルの灯りでライトアップされ、幻想的な姿を現します。



北見市と北海道銀行



北見とん田出張所 (昭和53年9月25日開設)



北見支店 (昭和26年9月27日開設)

北見市は北海道の東部に位置しており、人口12万5千人のオホーツク圏最大の都市です。平成18年3月5日、北見市、端野町、常呂町、留辺瀛(るべしべ)町が合併し、新しい北見市が誕生しました。常呂町が合併したことにより、オホーツク海に面した都市となっています。四季折々の鮮やかな自然と田園風景、日本有数のホタテの産地、温泉郷としても知られています。北海道銀行では、北見市に、北見支店、北見とん田出張所の2つの店舗があります。

協力/北見観光協会



水害を乗り越えて
 平成23年10月から11月にかけて、バンコク北部のアユタヤを中心に広範囲に被害をもたらした大洪水は記憶に新しいと思いますが、自動車関連産業を筆頭に、タイの各企業は寸断されたサプライチェーンの復旧に全力をあげて取り組みました。その結果、約半年で水害前の生産水準を回復し、平成25年はこれを上回る業績となる企業も多くなる見込みです。

また、日本企業によるタイ投資も、水害前を超えるペースで増加しており、タイの産業集積に一層の厚みを増しています。さらに、平成24年4月と、平成25年1月の2段階で実施された法定最低賃金の引き上げに伴って、消費支出も増加し、国内市場も活況を呈しています。

水害を乗り越えて

変わる投資環境

タイはこれまで、「日本企業が最も進出しやすく、利益の上げやすい国」と言われてきました。事実、5年前、10年前にタイに進出してきた各企業は、ほとんどが満足のいくパフォーマンスを実現してきたと言えます。しかし、ここ数年は、さまざまな面で投資環境が変化してきています。具体的には、人件費の上昇、労働力（特に幹部クラスやスキルを持った人材）の逼迫、同業の外資企業およびタイ地場企業との間の競争激化などが当地の企業責任者の悩みとなっています。これからのタイ進出に際しては、事業計画やコスト分析に際し、より慎重に計画を練る必要があります。

「グローカルの精神で、親身なサポートを」

昨年3月の当事務所開設以来、たくさんのお取引先が来訪され、タイ進出のご相談を受けました。最近では、進出される企業も中小企業が中心となり、海外進出に十分なマンパワーが割けないケースも

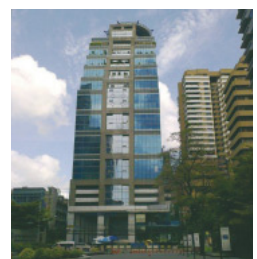
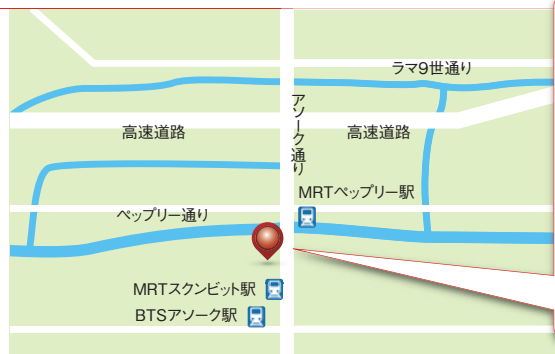
あることから、当事務所では進出に伴う各種情報やさまざまな専門業者のご紹介など、できるだけ親身なサポートを心がけてきました。また、昨年7月には、「富山タイ協会」が発足し、北陸銀行が事務局となったことに加え、12月には富山県より「富山県バンコクビジネスサポートデスク」も受託しました。富山県企業がタイでのビジネス展開を図る際、当事務所が現地での各種支援を行うこととなり、富山県とタイをつなぐ架け橋の役割も期待されています。こうした動きは今後、北陸銀行の地元、石川・福井・北海道などでも広がっていくかもしれません。「ローカル」が「グローバル」に展開する際、当事務所の役割が一層重要になると考えられ、身の引き締まる思いで日々業務に邁進しています。



富山県バンコクビジネスサポートデスク開所式

**北陸銀行
バンコク駐在員事務所(タイ)**

No.209,K-Tower A,9th Floor Unit 2/1,
 Sukhumvit 21 Road(Asoke)Klongtoey Nua,
 Wattana Bangkok 10110,Thailand
 TEL : 66-2-261-8495 FAX : 66-2-261-8497
 日本との時差 : 2時間



駐在員事務所が入居するビル

「微笑みの国」

豊かな食料と温暖な気候に恵まれ、穏やかで優しい人々の暮らすタイですが、一方では日本を始めとする多数の外国企業が進出、その産業集積は成長著しい東南アジアの中でも突出しており、いまや日本企業にとっても極めて重要な拠点となっています。

そのタイに、平成24年3月、北陸銀行6番目の海外拠点としてバンコク駐在員事務所を開設しました。新たにタイを含むメコン地域に進出を検討されるお取引先や、既にタイで事業を行っているお取引先に対し、地銀ならではのきめ細かいサポートを提供すべく、日々奮闘しています。



バンコク駐在員事務所メンバー

シンガポールに続く第2の拠点として、
東南アジアでの事業拡大をサポート



バンコク駐在員事務所
(北陸銀行)

駐在員レポート

in BANGKOK

THAILAND



華やかな大都会の賑わいと、厳かな仏教文化が息づき、古今の歴史と文化が見事に調和した都市、それがバンコクです。

1782年、ラーマ1世により遷都されて以来、タイの政治・経済・文化の中心であり続け、今では「東南アジアのハブ」と称される先進的な国際都市へと成長しました。

レポート：北陸銀行バンコク駐在員事務所長

馬場 正樹



バンコク市街



● 北陸銀行 ● 北海道銀行

お客さまのニーズにお応えするための取り組み

創業・新事業開拓支援

事業再生・経営改善、事業承継等支援

販路拡大・海外進出支援



「ほくほくフィナンシャルグループ」は、「地域とともに生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまとともに歩み、成長・発展することを目指しています。

経営支援の取り組み

事業再生・経営改善、事業承継等支援

● 本部専門部署による支援と外部連携活用

お取引先の事業計画にかかる支援では、専門部署である経営改善支援室がTV・WEB会議を活用して取引支店と連携し、事業計画策定や策定後の計画実行を確実にフォローする態勢としています。また、外部専門機関とも連携し、お取引先の状況に応じた経営改善策の構築を支援しています。

事業承継等の課題に対応するため、専門知識を有する本部PB(プライベートバンキング)チーム、M&Aチームおよび支店のPBデスクによるきめ細かな訪問・提案活動を実施しています。また、お取引先への情報提供の一環として、弁護士、税理士、M&Aアドバイザー会社といった外部専門機関と連携し、各種セミナーを開催しています。



外部講師によるM&Aセミナー

● 外部連携による支援強化と人材育成サポート等

中小企業支援協議会、コンサルティング会社などの外部機関との連携も活用し、お取引先への経営相談・指導や経営再建計画策定支援など、深度のある企業支援活動に努めています。

また、事業承継等への対応として、「道銀経営塾」、「道銀



道銀経営塾幹部育成コース

経営塾幹部育成コース」を継続的に開催し、お取引先の次世代を担う人材育成のサポートをしているほか、M&Aの支援など、お取引先のニーズに応じたコンサルティングサービスを提供しています。

創業・新事業開拓支援

● 「道銀農業経営塾(異業種参入編)」を開催

北海道農業を担う農業生産法人の経営者および後継者を対象とした「農業経営塾」とは別に、24年度は、異業種から農業関連分野へのビジネス展開を図る企業に対する「道銀農業経営塾(異業種参入編)」を開催し、9社12名のご参加をいただきました。



道銀農業経営塾(異業種参入編)

● 大学との連携による技術力の事業化支援

技術移転支援の一環として、大学の新技术説明会(発表会)等を支援しています。

金沢大学「北陸理工系企業 研究・技術開発見本市」に共催したほか、イベントなどにも協力しました。



● 中小企業支援ネットワーク強化事業の活用

経済産業省の中小企業支援ネットワーク強化事業に参加し、お取引先の認定取得に貢献しました。

取得認定	経営革新計画	県地域資源活用ファンド	6次産業化	その他
件数	10件	4件	2件	3件

お客さまのニーズにお応えするための取り組み

● 「ほくぎんビジバ倶楽部経営セミナー」を開催

お取引先の中小企業や事業主の皆さま向けにセミナーを開催し、経営に関わる実務的でタイムリーな情報を提供しています。24年度は「逆境におけるチャンスを見つけ方～失敗を恐れない経営判断の重要性～」、「経営資源の掘り起こしと企業戦略～戦略的資金調達補助金・助成金の活用～」のテーマで開催し、延べ約700名の参加をいただきました。

また、中国進出企業等で組織する「長城会」では人民元をテーマとした「長城会セミナー」を開催しました。



ほくぎんビジバ倶楽部経営セミナー

● 「道銀経営塾」を開催

平成8年より、お取引先の人材育成支援の一環として、後継者育成を目的に「道銀経営塾」を開講しています。これまでの卒業生は386名となり、卒業生の交流と継続的なサポートを目的に、卒業生の会「共栄会」を立ち上げました。



道銀経営塾

● 「第2回北海道立総合研究機構視察研修」の実施

「北海道立総合研究機構」との連携強化のため、視察研修会を実施し、支店長等39名が参加しました。お取引先のニーズ発掘・支援に活かしていくことを目的に、工業試験場や食品加工センター等を視察し、同機構の設備や取り組みについて理解を深めました。



視察研修会の様子

● 「業界の達人養成講座」、「目利きコンテスト」の実施

お取引先のビジネスを理解し、より有効な提案ができるよう、さまざまな業界に精通した方々に講演をしていただき、行員の知識向上に努めています。

また、お取引先の事業価値の確かな見極めを行い、その価値の向上に貢献できる人材の育成を目的として、行員が企業分析力を競う「目利きコンテスト」を実施しています。24年度のコンテストは参加者以外の行員も良好事例を学ぶ機会とするため、最終審査を公開発表会の形式で開催しました。



業界の達人養成講座



目利きコンテストの審査の様子



●北陸銀行 ●北海道銀行

お客さまのニーズにお応えするための取り組み

創業・新事業開拓支援

事業再生・経営改善、事業承継等支援

販路拡大・海外進出支援



販路拡大・海外進出支援

- 商談会テーマの絞り込みや地公体や外部機関とも積極的に連携することでビジネスマッチングでの成約件数の増加に努めています。また、各種セミナーや相談会を通じてお取引先のニーズを捉えた情報提供、コンサルティングに努めています。
- 海外行政機関、海外金融機関との業務提携を締結することでお取引先の海外進出のサポートを強化しています。

●第9回「北海道の『食』特別商談会」を開催

平成24年9月に「第9回北海道の『食』特別商談会」を開催しました。全道各地の「こだわりの物づくり」を行う食品メーカー34社が、首都圏を中心とした百貨店等の招聘バイヤー37名を相手に自社商品をアピールする絶好の機会となりました。



●「アグリビジネスフォーラム2012」を開催

平成24年10月に「アグリビジネスフォーラム2012」を開催しました。安全・安心かつ安定的な食料を確保するために注目が集まっている「植物工場」をテーマに、最先端の情報を提供しました。



●「ジェットRIT事業 ロシア極東寒冷地住宅ビジネス交流会」を開催

平成25年2月に寒冷地住宅建設の技術交流や産業交流を目的に、ジェットRIT（日本貿易振興機構）と共催でサハリンにて交流会を開催しました。道内企業6社が参加し、プレゼンテーションやロシア企業との活発な意見交換が行われました。



●「北海道の『食』の特別磨き上げ道場」を開催

平成25年3月に道庁と共催し「北海道の『食』の特別磨き上げ道場」を開催しました。道内食品関連企業を対象とし、消費者ニーズに関する情報提供や新商品開発、既往主力商品のブラッシュアップについてアドバイスを実施しました。



●「～首都圏～高級スーパー個別商談会」を開催

平成24年7月、金沢市で首都圏の高級スーパー7社を招いた「個別商談会」を開催しました。北陸の食品企業の販路拡大を目的に、富山、石川を中心とする29社が参加し、各社こだわりの食材を売り込みました。初開催の本商談会は、富裕層市場を開拓したいという地元メーカーの要望が多く、また北陸新幹線開業を控え首都圏スーパー側の関心も高いため、成約見込みが高い商談が多くなり、売り手・買い手双方から高い評価をいただきました。



● 第三回「とやま『食』の商談会in東京」を開催

平成24年11月、富山県、財団法人富山県新世紀産業機構と共催したこの商談会では、富山に本社を置く食品関連企業28社、首都圏のバイヤー22社が参加し、活発な商談が行われました。



●「ビジネス・サミット2012」を開催

平成24年9月、大垣共立銀行と共催で、北陸と東海地域の企業の交流商談会「ビジネス・サミット2012」を名古屋市内で開催しました。「美・食・癒し」をテーマに、女性をターゲットにした商品やサービスを扱う企業が出展しました。流行に敏感な女性を刺激し、消費を喚起するような商品などに焦点を当てたテーマを設定し、食品や化粧品、雑貨メーカーや旅行関係の企業など136社・団体が、販路開拓に向けて出展しました。当日は約2,600名が来場し、事前ヒアリングに基づきバイヤー88社と約1,200件の商談が行われました。



●「海外バイヤー招聘商談会@富山県ものづくり総合見本市2012」を開催

平成24年9月、富山県、ジェットRIT富山貿易情報センターとの共催で、「海外バイヤー招聘商談会@富山県ものづくり総合見本市2012」を開催しました。インド、シンガポール等、アジア5カ国から、工作機械や産業用機械等の調達を希望する8社のバイヤーを招聘し、富山県のものづくり企業の海外販路開拓、拡大を支援するために実施しました。当日は、参加企業53社による103件の商談が行われました。



環境保全

環境に配慮した企業活動への融資など、金融機関としての本業を通じた取り組みのほか、各地での清掃活動や植樹活動にも積極的に参加しています。

また、一人ひとりができることから着手し、職場における日々の省エネやエコ活動を継続して行っています。

Clean up!

「富山地区全店一斉クリーン活動」

店舗周辺の駅や道路、公園などの清掃に総勢620名の行員が参加しました。



「千里浜ウォーク」

千里浜をウォーキングしながらのゴミ拾いにボランティアとして参加しました。



「大通公園」の清掃

環境保全活動の一環として「大通公園」のボランティア清掃を行っています。

北海道銀行本店ビル、別館ビルの役職員、近隣営業店の職員が参加し、毎年4回実施しています。



「しばざくら大作戦1200」

福井県の花づくりの活動の輪を県下全体に広げるため、12,000株のしばざくらを市道芦原金津線沿線1.2kmに植栽する活動に賛同し、行員がボランティアとして参加しました。



Eco



「道銀の森」第4回植樹を実施

北海道銀行は、環境に対する意識向上を目的に「道銀の森」(当別町)を平成21年に創設しました。

毎年、役職員が中心となってミズナラ、ヤチダモ、シラカバ、アカエゾマツなどの

苗木を1ヘクタールに2千本ずつ、5年間で5ヘクタールに1万本の植樹を目指しています。第4回の植樹にも多くの役職員とその家族が参加しました。

ほくほくFGのCSR

地域活性化のための取り組み

金融教育

学生を対象とした職場体験学習やインターンシップ、地元大学における金融講座への講師派遣など金融知識の普及に向けた取り組みを行っています。



「夏休み銀行探検隊」

富山県銀行協会が企画する「夏休み銀行探検隊」を北陸銀行本店で行いました。小学4年生から中学生までの約90人が参加し、お金の歴史や銀行について学びました。



「職場体験」

各営業店が地域の小学校・中学校からの職場体験や職場見学、高校生・大学生のインターンシップの受け入れに協力しています。



Education



「キッズタウン」

会場全体を「仮想のまち」に見立て、小学生がさまざまな職業を疑似体験できる『こどものまちミニさっぽろ』では、「ミニほっかいどう銀行」を運営しました。24年度は開催地を拡大して旭川市、帯広市、函館市、室蘭市でも実施しています。

「親子で銀行体験」

毎年、小中学校の夏休みと冬休みの時期に合わせ、普段「銀行」に接する機会の少ない子ども達を対象に「親子で銀行体験」を北海道内各地で開催しています。





地域密着活動

地域の皆さまとの交流を深め、よりよい関係を築き、元気なまちづくりに貢献するため地域の一員として積極的に地元イベントに参加しています。

YOSAKOIソーラン祭り

ほくほくフィナンシャルグループでは、北海道の初夏を代表するお祭り「YOSAKOIソーラン祭り」に、札幌市の老舗チームと合同で「北海あほんだら会&ほくほくFG」として参加しています。今年で、9回目の出場となり当社グループから64名が地域との関わりを通じて元気・活気をアピールしました。



さっぽろライラックまつり

北海道銀行では、大通公園で開催される「さっぽろライラックまつり」に昭和34年より協賛しています。北国の初夏を彩るライラックは、札幌の市木でもあり、北海道銀行のバンクフラワーでもあります。「札幌をライラックの花につつまれた美しい街に」との願いを込めて昭和50年から市民の皆さまにお配りしたライラックの苗木は10万本に達し、札幌市民のご家庭の庭木として愛されています。



高岡万葉まつり

高岡古城公園で行われた「高岡万葉まつり」には北陸銀行チームとして10人が参加しました。かつて越中国府であった大伴家持をしのび、参加した市民ボランティア全員で万葉集4,516首を3昼夜かけて読み継ぎました。



百万石まつり

加賀藩祖・前田利家公が金沢城に入城し、金沢の礎を築いた偉業をしのんで開催されるお祭りに金沢市内店を中心に129名が参加しました。



Festival

芸術文化・スポーツ振興

美しい絵画や音楽を身近に感じていただけるよう、店舗を利用したアートギャラリーの設置や音楽祭の開催などを行っています。また、地元スポーツチームの支援やオフィシャルパートナーとして、スポーツ振興を通じた活気あふれる地域作りを応援しています。

岩城宏之メモリアルコンサート

北陸銀行では、金沢市に本拠を置くオーケストラ・アンサンブル・金沢による「岩城宏之メモリアルコンサート」の開催や毎年春に開催される「ラ・フォル・ジュルネ金沢」などの文化活動を支援しています。



岩城宏之メモリアルコンサート

第27回「道銀ライラックコンサート」

北海道銀行では、気軽に美しい音楽にふれてもらいたい、北海道の文化を身近に感じてもらいたいという思いから、平成2年より「道銀ライラックコンサート」を開催しています。27回目を迎えた今回は、第22回道銀芸術文化奨励賞を受賞した下司貴大さんを迎え、札幌交響楽団とのクラシックの競演をお楽しみいただきました。



美術館「ギャラリー・ミレー」開館

平成24年9月1日、中心市街地の賑わい創出を狙い富山市中央通りに美術館「ギャラリー・ミレー」をオープンしました。19世紀に活躍したフランスバルビゾン派の画家ミレーの作品など53点を収蔵しています。

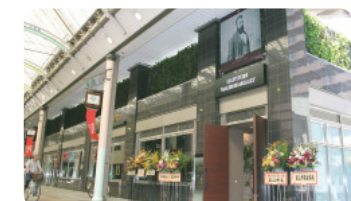
美術ファンだけではなく買い物客、観光客、そして出張中のビジネスマンなど全



国から多くの方が鑑賞に訪れ、来館者数は開館7ヶ月で1万人を超えました。今後も、皆さまに愛される美術館として特色ある企画展を開催していきます。



1万人目の来館者に記念品を贈呈



「北海道銀行フォルティウス」のサポート

北海道銀行では、カーリングの普及とスポーツ振興を通じたCSR活動の取り組みとして、女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」をメインスポンサーとしてサポートしています。平成25年2月、北海道代表として出場した日本カーリング選手権大会では、皆さまからの熱いご声援により準優勝の成績をおさめることができました。



Sport

「どうぎんカーリングスタジアム」のオープン

北海道銀行の名称がついた初の公共施設「どうぎんカーリングスタジアム」が平成24年9月15日、札幌市にオープンしました。北海道銀行フォルティウスのホームスタジアムであり、日本カーリング選手権大会や国際大会も多数開催されています。

カーリング教室の開催や市民大会の開催等、広く一般市民に開放されています。



PICK UP NEWS Hokuhoku FG

お客さまの身近に広がるネットワークの充実や、付加価値の高いサービスの情報などをピックアップしてご紹介します。

北海道銀行

道銀Web専用口座「スマートLeaf」 若者応援サービス「Do DEBUT」取扱開始

2013.3

3月1日より道銀Web専用口座「スマートLeaf」および若者応援サービス「Do DEBUT」の取り扱いを開始しました。

「スマートLeaf」は通帳を発行しないインターネット専用の普通預金口座です。現金の入出金はキャッシュカードで、残高照会や取引明細照会は道銀ダイレクトサービスで行います。「Do DEBUT」は満18～

23歳までの方が対象となり、北海道銀行のATM時間外手数料が0円でご利用いただけます。



「どうぎん保険プラザ大通」での 保険コンサルティングを開始

2013.4



4月12日、本店ビル6階に道内銀行で初となる保険専門プラザ「どうぎん保険プラザ大通」をオープンしました。

生命保険を切り口に、お客さまのライフステージに応じたニーズに幅広くお応えします。

営業時間は10時～18時(ゴールデンウィークの一部、年末年始の一部を除く)、原則予約制となっております。

桑園支店の新規出店

2013.4

4月15日、JR桑園駅前(札幌市)に桑園支店をオープンしました。

桑園支店は、「コンサルティングルーム」や「相談ブース」を設置し、資産運用や住宅ローンの専門担当者を配置するなど、充実した体制で個人のお客さまのご相談にお応えします。

また、通帳繰越機能を備え

た新型ATMの導入や全135マスの全自動貸金庫の設置など、お客さまにより便利にご利用いただける店舗としています。



道銀地域総合研究所の事業開始

2012.10

株式会社道銀地域総合研究所が北海道銀行の子会社として事業を開始しました。

各種セミナーやコンサルティングを行う「コンサルティング部」、地域の各種戦略立案・個別調査受託や事業化の支援をする「地域戦略研究部」、マクロ経済調査を中心とした地域経済の発展に寄与する情報の発信を担う「経済調査部」の3部門を柱に、北海道銀行グループとし

て、地域の皆さまのさまざまなニーズにお応えするために、シンクタンク機能を発揮し、地域の発展・活性化に寄与してまいります。



(参考) <http://www.lilac.co.jp/doginsoken/>

法人インターネットバンキング「道銀ビジネスWEBサービス」全面リニューアル

2012.11

11月5日、お客さまの利便性向上を図ることを目的に法人・事業者向けインターネットバンキング「道銀ビジネスWEBサービス」を全面リニューアルしました。

サービスご利用時間を24時間(メンテナンス時間を除く)に延長したほか、画面レイアウトおよび画面遷移を利用者視点から見直しを行い、使い勝手を改善しました。また、本サービスはセキュリティ面にも配慮し、ご利用者の皆さまには原則「電子証明書」による本人認証方式を採用し、不正アクセスのリスクを軽減しています。さらに、25年2月

にサービスを開始した「道銀電子債権サービス」の入り口となる等、法人・事業者向け銀行決済におけるプラットフォームとしてサービスを提供しています。



シンガポール駐在員事務所開設15周年 記念式典開催

2012.11

11月21日、フォー・シーズンズ・ホテルにてシンガポール駐在員事務所開設15周年記念式典を開催しました。在シンガポール日本大使館安藤公使、シンガポール国際企業発展局チュア・タイク・ヒム副局長をはじめ、シンガポールに進出しているお取引先の現地駐在員、日本やマレーシアからの来賓など約100名のお客さまをお迎えし、盛大な式典となりました。



シンガポール駐在員事務所が入居するビル

事務所開設15周年を契機に、チャイナプラスワンという進出ニーズの高いアセアン地域でのビジネス支援体制をさらに強化していく方針です。

北陸銀行創立70周年

2013.7

明治10年に前身である金沢第十二国立銀行が創業したのち、合併と統合を重ね昭和18年に北陸銀行となつてから7月31日をもって創立70周年を迎えました。

これを機に、日本海と北アルプスの山々をモチーフとした行章を復活させました。

お客さまへの感謝の気持ちを忘れず、銀行員としての

誇りと使命を胸に、これからも地域の皆さまとともに歩んでまいります。



行章

北陸銀行

スマートフォンによる 「お近くの店舗・ATMナビ」開始

2012.9

9月27日よりスマートフォンから最寄りの店舗やATMを検索できるサービスを開始いたしました。このサービスは、半径5km以内にある店舗やATMを最大5件まで表示、周辺地図と現在地からの道順案内も行います。出張先など不案内な場所でも簡単に最寄りの店舗を探すことができ、北陸銀行の広域店舗網をより身近に感じていただけるサービスとなっています。



3出張所が支店昇格

2012.11

11月19日、豊田(富山市)、高岡清水町(高岡市)、西岡(札幌市)の各出張所が支店に昇格しました。フルバンキング機能を備えつつ、主に個

人や家業のお客さまに特化したサービスを提供し、これまで以上にお客さまのニーズにきめ細やかにお応えしていきます。



西岡支店



豊田支店



高岡清水町支店

● ミステリーショッパーによる 店舗調査

北海道銀行では、外部評価機関のミステリーショッパー（覆面調査員）による店舗モニタリング調査を継続実施しています。この調査では、職員の接客・マナーや身だしなみ・店舗設備・ロビー状況についてお客さまの目線でチェックを行っています。店舗への調査はあくまでも“ミステリー（覆面）”で行われるため、実態に基づいてチェックしています。

この調査結果を基に、各営業店のCS達成度を☆の数で格付けし、お客さまに“見える”ようにしています。

☆☆
CS達成度を☆の数で格付



ミステリーショッパー



● 「振り込め詐欺」 防止への取り組み

お客さまの大切なご預金をお守りするため、振り込め詐欺防止チェックシートのほか、地域の警察署と連携した振り込め詐欺撲滅キャンペーンや防止訓練を実施しています。

今後も本支店一体となり、振り込め詐欺の未然防止に努めてまいります。



○ご意見はこちらへ

—お客さまの声受付体制—

【ご意見ポスト】



店頭にて備えており、ご意見やご要望をお寄せいただいております。

【お客さまアンケート】



より一層ご満足いただけるサービスを提供できるようアンケートを実施しております。

【インターネット】



●北陸銀行
<http://www.hokugin.co.jp/>
●北海道銀行
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

【お電話】



北陸銀行お客さま相談室
0120-794-322
北海道銀行お客様相談室
0120-910-444

● 感動体験 スマイルストーリー

北陸銀行では、CS感動体験作文コンクールを行い、優秀作品をもとに作成した「感動体験スマイルストーリー」を全行員に配付しました。体験を共有することでCSマインドの向上とお客さまの心に寄り添ったサービスの提供を目指していきます。



手話が伝えた
「ありがとう」の気持ち。

北陸銀行四方支店
坂井 美紀 行員

聴力を失われたお客さまといつも通り筆談でお話をしました。帰り際に何か手話をしてくださいましたが、その手話の意味がわからず、私はただ「ありがとうございました」と言いました。お客さまは気付かずお帰りになり、声の届かないお客さまの後姿を見送りながら、やりきれない寂しさを感じました。

手話の意味を調べ、後日そのお客さまが来店されたときに、手話を添えて「ありがとうございました」と声をかけると、店の全員が後に続きました。その時にお客さまの顔がぱっと笑顔になられ、とてもうれしく思いました。

これからもお客さまの喜ぶ笑顔のために、できることを考え、お客さまの心に寄り添っていきたく思います。

お客さまの笑顔のために CS向上への取り組み

Customer Satisfaction

顧客満足度

お客さまへの
サービス向上を追求し、
さまざまなお取り組みを
行っています。



● ロールプレイング大会

お客さまをお待たせしない窓口に加え、店頭での説明力向上を目的に、窓口担当者が中心となりロールプレイング大会を各地区で実施しています。

参加者からは、「正確・迅速・丁寧な窓口対応に加え、お客さまとのコミュニケーションの重要性や難しさを改めて実感した」「お客さまのニーズを的確に把握できるよう対応技術の向上に取り組みたい」との意見が多く寄せられました。

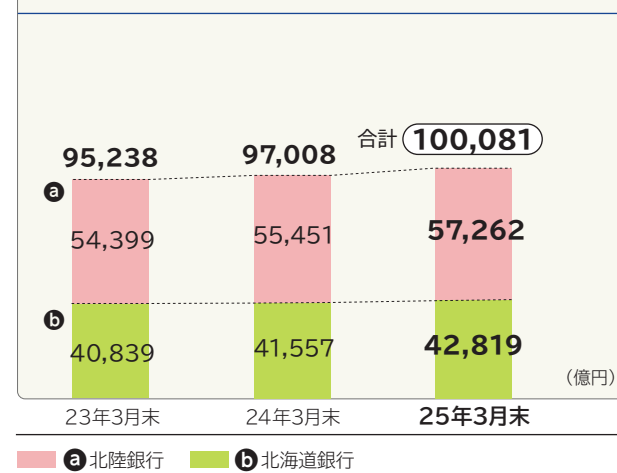


業績ハイライト

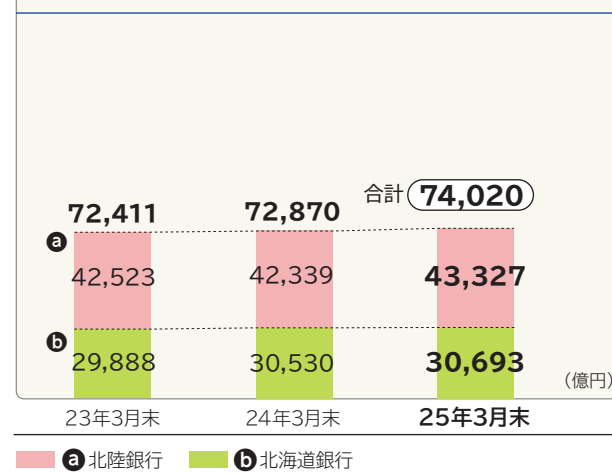
営業の概況 | 預金 | 貸出金 | 金融再生法開示債権 | 自己資本比率

Hokuhoku Financial Group

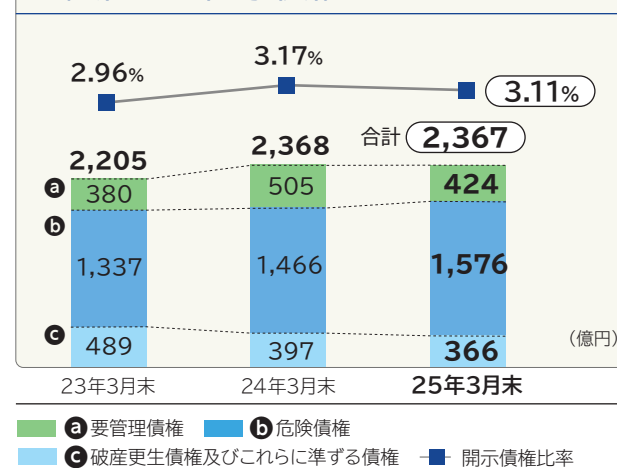
預金(含む譲渡性預金) <2行合算>



貸出金 <2行合算>



金融再生法開示債権 <2行合算>

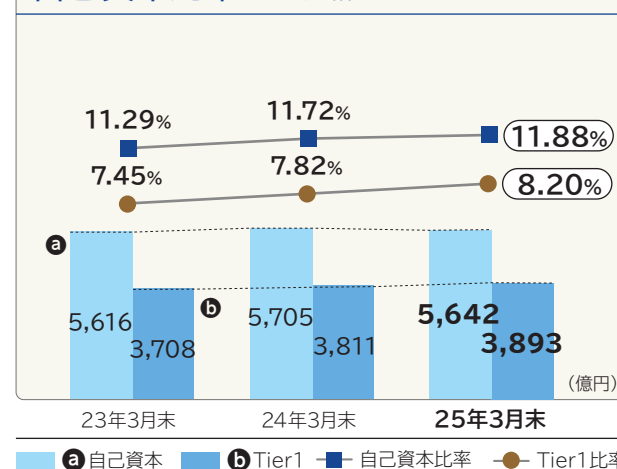


金融再生法開示債権は、24年3月末同水準の2,367億円となりましたが、開示債権比率は同0.06ポイント低下し、3.11%となりました。

用語の解説

- **金融再生法開示債権**…金融再生法(金融機能の再生のための緊急措置に関する法律)に基づく基準により、公表しています。
- **開示債権比率**…総与信に占める金融再生法開示債権の割合を示しています。この比率が低いほど健全性が高いといえます。

自己資本比率 <FG連結>



財務の健全性を示す自己資本比率は、リスクアセットの減少により、24年3月末比0.16ポイント上昇し11.88%となりました。

利益の積み上げにより内部留保が増加したことで、Tier1は24年3月末比81億円増加し、3,893億円となりました。自己資本は、劣後ローンの返済によりTier2が減少したため、24年3月末比62億円減少の5,642億円となりました。

用語の解説

- **自己資本比率**…自己資本(資本金や利益の蓄積等)が資産に比べてどの程度充実しているかを示します。この比率が高いほど安全性・健全性が高いといえます。
- **Tier1比率**…リスクアセット(貸出金等の資産)に対するTier1(自己資本の基本的項目である資本金・資本剰余金・利益剰余金等)の割合を示したもので銀行の本質的な健全性を示すものです。

—25年3月期の業績をご報告をいたします—

営業の概況 <ほくほくフィナンシャルグループ連結>

(単位: 億円)

	24年度		23年度
		前期比	
経常収益	1,991	△88	2,079
経常利益	293	△95	388
当期純利益	181	+39	141
自己資本比率	11.88%	+0.16%	11.72%

当社における当連結会計年度の業績につきましては、連結経常収益は前期比88億円減少の1,991億円、連結経常利益は前期比95億円減少の293億円、連結当期純利益は前期比39億円増加の181億円となりました。

営業の概況 <北陸銀行・北海道銀行>

(単位: 億円)

	2行合算		23年度
	24年度	前期比	
経常収益	1,846	△83	1,930
コア業務粗利益	1,455	△108	1,563
経費(臨時処理分を除く)	951	△55	1,006
コア業務純益	503	△53	557
与信費用	170	+66	104
有価証券等関係損益	4	+18	△14
経常利益	300	△105	405
当期純利益	195	+28	166

コア業務粗利益は、資金利益および金融派生商品収益の減少により、前期比108億円減少の1,455億円となりました。前年度はシステム更改がありましたが、今年度はそういった要因がなくなり経費が前期比55億円減少した結果、コア業務純益は、前期比53億円減少の503億円となりました。

経常利益は、与信費用が前期比66億円増加したことから、前期比105億円減少の300億円となりました。

当期純利益は、法人税等調整額の減少により前期比28億円増加の195億円となりました。

(単位: 億円)

	北陸銀行		23年度
	24年度	前期比	
経常収益	1,030	△23	1,054
コア業務粗利益	823	△61	885
経費(臨時処理分を除く)	509	△33	542
コア業務純益	314	△28	343
与信費用	93	+49	44
経常利益	183	△91	274
当期純利益	123	+9	114
自己資本比率	11.78%	△0.07%	11.85%

(単位: 億円)

	北海道銀行		23年度
	24年度	前期比	
経常収益	816	△59	875
コア業務粗利益	631	△46	678
経費(臨時処理分を除く)	442	△22	464
コア業務純益	189	△24	214
与信費用	76	+16	59
経常利益	116	△14	131
当期純利益	72	+19	52
自己資本比率	11.23%	+0.43%	10.80%

※ 業績説明に使用している計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

店舗ネットワーク

国内ネットワーク | グローバルネットワーク

Hokuhoku Financial Group

平成25年6月末現在

広域ネットワークを活かした情報・サービスで お客さまをサポート

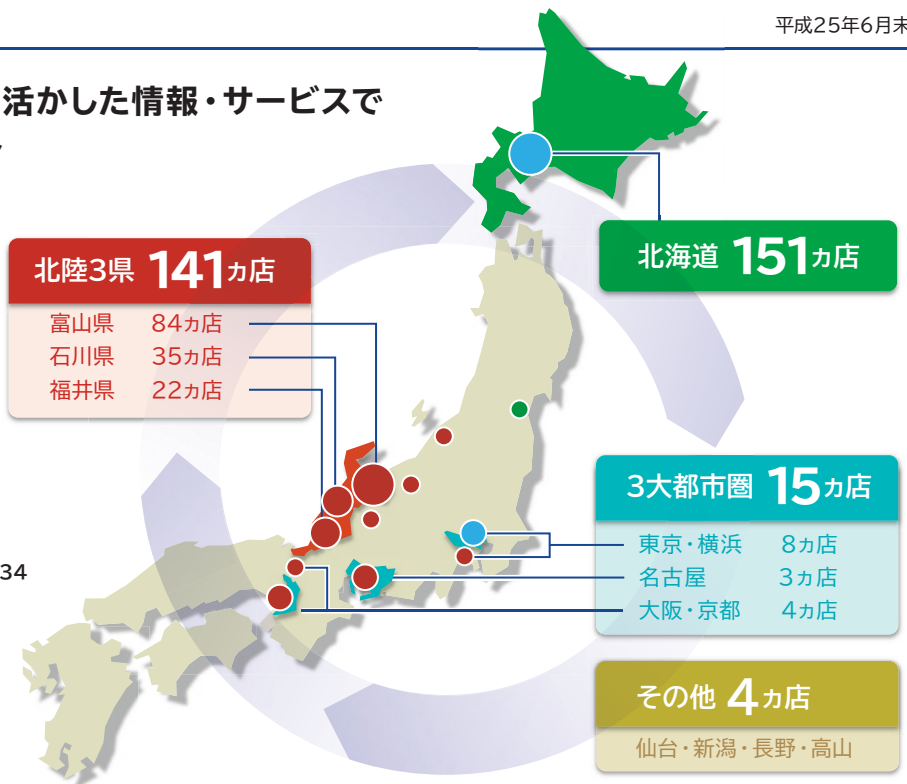
ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

● 国内店舗数

北陸銀行 177 北海道銀行 134

311 店舗

(特殊店舗を除く)



グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化する取引企業の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めてまいります。



1 ニューヨーク (北陸銀行)



2 ロンドン (北陸銀行)



3 ユジノサハリンスク (北海道銀行)



4 瀋陽 (北海道銀行)



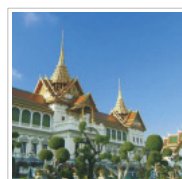
8 シンガポール (北陸銀行)



5 大連 (北陸銀行)



6 上海 (北陸銀行)



7 バンコク (北陸銀行)

企業概要

企業概要 | あゆみ | グループ企業

Hokuhoku Financial Group



<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

設立日	平成15年9月26日
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
事業目的	傘下子会社の経営管理、ならびにそれに付帯または関連する業務
資本金	708億9,500万円
上場取引所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所

● ほくほくFGのあゆみ

- 2003**
 - 5月 ● 北陸銀行と北海道銀行が経営統合を基本合意
 - 9月 ● 銀行持株会社(商号:ほくぎんフィナンシャルグループ)を設立し、北陸銀行を完全子会社化
- 2004**
 - 9月 ● 北海道銀行を完全子会社化
 - (株)ほくほくフィナンシャルグループに商号変更
 - 札幌証券取引所に上場
- 2009**
 - 8月 ● 公的資金を完済
- 2011**
 - 5月 ● 基幹システムを北陸銀行・北海道銀行・横浜銀行の3行共同オンラインシステム(MEJAR)へ移行



<http://www.hokugin.co.jp/>

設立	昭和18年7月31日(創業明治10年)
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
資本金	1,404億952万円
頭取	庵 栄伸

北陸銀行は、加賀前田家の出資(7割)を受け、明治10年8月26日に設立された金沢第十二国立銀行を起点としており、今年で創業から136年を迎えました。北陸・北海道を主要営業基盤とし、三大都市圏にも店舗展開する他に類を見ない広域地銀として発展してきました。

積極進取の気風で先進業務にも積極的に取り組み、国際業務、証券やEB業務など総合金融業務で地銀トップレベルにあります。

地域密着型金融の本質である「地域とともに生きる」という高い志のもと、皆さまとともに歩み、地域社会とともに成長・発展することを目指してまいります。

● グループ企業

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

株式会社北陸銀行	
北銀ビジネスサービス株式会社	文書管理・事務集中処理業務等
株式会社北海道銀行	
道銀ビジネスサービス株式会社	文書管理・事務集中処理業務等
道銀カード株式会社	クレジットカード業務、信用保証業務
株式会社道銀地域総合研究所	経済調査業務、コンサルティング業務等
北銀リース株式会社	リース業務
株式会社北陸カード	クレジットカード業務
北陸保証サービス株式会社	信用保証業務
北銀ソフトウェア株式会社	ソフトウェア業務
ほくほく債権回収株式会社	サービサー業務
ほくほくキャピタル株式会社	ベンチャーキャピタル業務



<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

設立	昭和26年3月5日
本店所在地	札幌市中央区大通西4丁目1番地
資本金	935億2,401万円
頭取	堰八 義博

北海道銀行は、戦後復興期の昭和26年3月5日、北海道における新興産業の勃興と人口の急激な増加に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。

こうした設立の経緯から、北海道のお客さまに円滑な資金供給と充実した金融サービスの提供を行うことを通じ、地域経済の成長に貢献することが、「北海道に根ざしたとさんこバンク」としての北海道銀行の使命であると考えております。

今後も、創業時の精神を忘れず、北海道の皆さまとともに歩んでまいります。

地域と
あなたのために
もつと。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7331
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ
〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel:076-423-7111
<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行 経営企画部広報CSR室
〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel:011-233-1005
<http://www.hokkaidobank.co.jp/>